小グループで学ぶ臨床研究
Midcareer Academic learning Program
臨床研究オンライン学習プログラム
－医療に携わる全ての人のために－

［ジー・マップ］

gMAP

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構［iHope International］

［ジー・マップ］ gMAP は…

仲間とともに学ぶグループ学習型の臨床研究オンラインプログラムです

すべての医療者 が対象です

これまで医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、臨床工学士、はり師・きゅう師など幅広く受講いただいています。

特徴

- 幅広いオンライン講義による系統的な学習
- 仲間と取り組むグループワーク課題
- 講師と全国各地をつないだライブディスカッション
- 専属メンターがグループ独自の研究計画を指導（SPコース）

コース概要

gMAPsp

gMAP

Step1～3を
繰り返し
全8回

Step 1
いつでもどこでも
オンライン学習

オンライン講義なので
ご自身のペースで受講可能

Step 2
グループで
課題に取りくむ

講義で生んだ知識を実習で活用
グループで協力して解答を作成し提出
提出した解答にはコメントをつけて返却

Step 3
全国のグループと
ライブ討論
講師が解説

全受講グループがオンラインで参加
講師と課題に関するディスカッション

SPコース（オプション）

メンターが遠隔指導／
グループで作った
RQをもとに
研究計画を練り上げる

グループ独自のResearch
Question に対するメンタリング

、
・グループメンタリングを年8回
・専属メンターによる指導
・年2回の発表会

オンライン講義

gMAP gMAPsp

臨床研究における必須知識を全24コマで習得

	テーマ		講義名	
Module1	あいまいな疑問を形にする	臨床の疑問を研究で 解決可能な形にする方法を学ぶ	1	研究デザイン7つのステップ
			2	疑問を構造化する
			3	疑問のモデル化
Module2	データの測り方	測定の信頼性、妥当性、各指標の正しい知識を学ぶ	1	測定をデザインする
			2	存在・発生・効果の指標
			3	研究デザインの型
Module3	研究デザインの型を選ぶ	型の違いを整理し、長所短所を理解した上で 適切な選択方法を学ぶ	1	介入研究
			2	コホート研究・横断研究
			3	ケースコントロール研究
Module4	研究結果をゆがめる原因	バイアスと交絡の違いを理解し、対処方法を学ぶ	1	比較の質を落とす原因（１）
			2	比較の質を落とす原因（２）
			3	比較の質を高める
Module5	統計手法①　記述・単変量解析編	データの種類ごとの記述、比較検定の方法を学ぶ	1	記述統計
			2	連続変数の比較
			3	カテゴリー変数の比較
Module6	統計手法②　多変量解析編	臨床研究で必須となる回帰分析、 多変量解析について学ぶ	1	相関と回帰・線形回帰分析
			2	ロジスティック回帰分析
			3	生存時間解析
Module7	データ収集の計画・実践	研究組織構成、調査票作成、サンプリング方法など 調査の計画から実践までの流れを学ぶ	1	調査研究法Ⅰ　理論編
			2	調査研究法Ⅱ　実践編
			3	サンプルサイズ設計
Module8	その他のトピック	臨床研究を行う上で知っておくべきトピックを学ぶ	1	心理尺度の使い方
			2	臨床研究のエシックスとインテグリティ
			3	QOL/PRO 測定の意義と課題

お試し試聴

講義の一部をご試聴いただけます。ご利用の環境で問題なく視聴できることを必ずご確認 ください

https://ihope.quizgenerator.net/　（ID：emap1234　PW：emap1234）

【試聴方法】上記URLにID・PW［ emap1234 ］でログインし、「学習する」から「MAP講義サンプル動画」をご覧ください

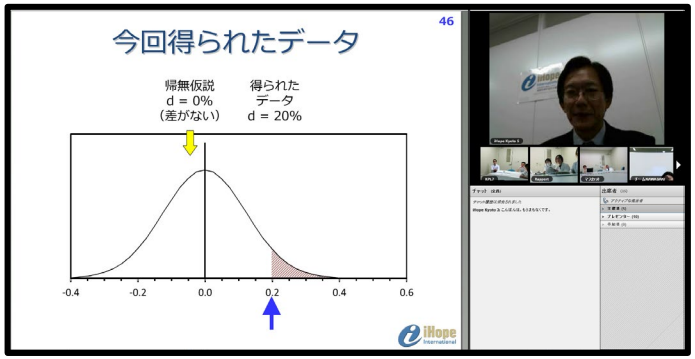
ライブディスカッション

gMAP gMAPsp

- 毎回60分のライブディスカッションを年8回
- グループワーク課題の解説やディスカッション
- Web会議システムを使用して全グループが同時に参加

講師とグループワーク課題
についてディスカッション

全グループが同時に参加



SPコース メンタリング

gMAPsp

gMAPのオンライン学習に加え、
グループ独自のリサーチ・クエスチョン（RQ）に対するメンタリング

※gMAP-SPコースのメンタリングにおきましては、グループで1つのリサーチ・クエスチョンに絞っていただくようお願いいたします。

- グループのRQを具体的な研究計画に
- 経験豊富なメンターによる直接指導
- 毎回90分の遠隔メンタリングを年8回
- 発表会では京大教員とディスカッション

新たに「メンタリングのみ」のコースも開設いたしました。
ぜひ、お仲間の皆様とお誘い合わせの上ご検討ください。
詳細はgMAP事務局 gmap@i-hope.jp までお問合せください。

メンタリング　ロードマップ

gMAPsp

到達目標		実施時期
第1回	RQを決めましょう／PECOが適切か確認しましょう／このRQの意義をチェックしましょう	5月上旬 －８月下旬
第2回	RQを固めましょう／PECOの項目を具体的にしましょう／E(要因)とO(アウトカム)の測定方法を決めましょう	
第3回	RQを決断しましょう／再度FIRM2NESSチェックをしてみましょう／再度PECOの定義と測定方法を具体化しましょう	
第4回	PECOと各要素の定義を議論する／概念モデルを作成し、交絡因子について整理する／起こりうるバイアスを検討する	
中間発表会		9月中旬-下旬
第5回	発表会でのコメントを踏まえPECOの各要素を再度議論する／概念モデルを見直す／起こりうるバイアスを議論する	10月上旬 ー翌年2月上旬
第6回	調査計画の骨格を作る／解析計画の骨格を作る	
第7回	調査計画の骨格を作る／解析計画の骨格を作る	
第8回	倫理的配慮について考える／サンプル数を見積もってみる	
最終発表用		2月中旬-下旬

メンタリングの流れ

gMAPsp

0：日程調整

まずはメンターと
メンタリングの日程を調整

1：事前準備

ワークシートについてグループで相談
メンタリング２日前までに提出

2：メンタリング

ワークシートの内容を
もとにメンターと相談

3：オープンアワー

メンターの意見をもとにRQを修正
メンターへの質問も可能

全8回
繰り返し

SPコース 発表会

gMAPsp

メンタリングの成果を年2回発表
新たな発見を得て研究計画をブラッシュアップ

- SPコース全受講グループが参加
- 京都大学教員からコメントや助言
- 他グループとも意見交換
- 発表後はその場で相談も可能

SPコース限定 追加講義オプションプラン

gMAPsp

メンタリングで、gMAPの履修範囲以外の学習が必要となった場合、講義を追加することができます。講義はgMAP-SP終了時（３月末）まで何度でも視聴可能です。

■条件

・グループメンバー全員が受講する必要があります。

■受講方法

・gMAP-SP申し込み時から随時追加の希望を受け付けます。
・gMAP-SP開始後も随時お申込みいただけます。
（ただし受講期間は申し込み後からgMAP-SP終了まで）
・STATA解析ハンズオンのみ２～３月の期間限定の受講となります。
・STATAは期間限定の無料ライセンスを準備します。
・終了後もSTATAの使用を希望される場合は自費購入していただく必要があります。

■主な内容（今後ニーズに応じて追加される可能性もあります）

文献検索・系統的レビュー	3コマ	9,000円／人
臨床予測モデル	3コマ	9,000円／人
傾向スコア	2コマ	7,000円／人
混合モデルと一般化推定方程式	2コマ	7,000円／人
STATA解析ハンズオン	7コマ	30,000円／人
論文作成法（英語）	2コマ	7,000円／人

※「メンタリングのみ」のコースをご希望の際はgMAP事務局 gmap@i-hope.jp までお問合せください。

年間スケジュール

	gMAP	gMAPsp	
		gMAP-SPコース ＊gMAPのコースワークと同時進行で実施	メンタリングのみコース
実施時期	オンライン学習	オンライン学習＋メンタリング	メンタリング
4月中旬	オリエンテーション		オリエンテーション
5月	Module 1～4		第1～4回
6月			
7月			
8月			
9月	中間テスト（前半）		中間発表会
10月	Module 5～8		第5～8回
11月			
12月			
1月			
2月	最終テスト（後半）		最終発表会・修了式
3月	修了認定		

※予定は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

修了認定要件

gMAP gMAPsp

① オンライン講義の視聴

② 課題の提出

③ 中間・最終テストに合格

④ ライブディスカッションへの参加

⑤ (SPコースのみ) 発表会への参加

評価基準に従って合格された方には修了証を授与いたします

参考図書

gMAP gMAPsp

オンライン講義に対応した参考図書で学習をサポートいたします。
参考図書と合わせて受講することで、より学習効果が高まります。

※参考図書は別売りです。受講料には含まれておりません。

Module 1-4・8 対応

臨床研究の道標 第2版〈上巻〉・〈下巻〉　福原 俊一（著）

上巻：ISBN978-4903803265　下巻：ISBN978-4903803272

医療の現場で疑問を感じることはないですか？ その答えを見つけるために…。

■世界の論文を正しく読み解き、解釈できるようになりたいと思っている方
■診療現場で抱いた疑問に自分自身で答えを見つけるために、研究してみたいと思っている方
■できれば、その研究の結果をまとめ、学会や学術雑誌に発表したいと思っている方
■いつもの症例報告から一歩前へ踏み出してみたいと思っている方

でも何から始めたらよいか、悩んでいませんか？
この本は、研究デザインの道で遭難しないためのガイドブック（道標）です。
この本を手に、症例報告から一歩前に飛び出してみましょう。

Module 1 対応

概念モデルをつくる

松村 真司 (著)

ISBN978-4903803043

リサーチ・クエスチョンの作り方 第3版
福原 俊一 (著)

ISBN978-4903803241

サンプルサイズの設計

山口 拓洋（著）
大西 良浩（製作協力）

ISBN978-4903803159

Module 7 対応

誰も教えてくれなかったQOL活用法 第2版
竹上未紗、福原俊一(著)

ISBN978-4903803203

Module 8 対応

参考図書の書籍は、特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構（iHope International）のオンラインショップよりお買い求めいただけます

出版物のご案内 http://www.i-hope.jp/activities/publication

受講料

gMAP

1名につき

10万円（税込）

ひとりでもgMAPのコースワークが受講可能なコース
iMAP（アイ・マップ）／iMAPsp（アイ・マップ） もございます

gMAPsp

1グループ（4名まで）
80万円（税込）

5人目以降1名につき
15万円（税込）

＊SPコースの受講料にはgMAPコースの受講料（オンライン講義・グループワーク・ライブディスカッション）を含んでおります

例：7名でのお申込みの場合
グループ料金￥800,000＋3名分450,000＝￥1250,000

※「メンタリングのみ」のコースをご希望の際は
gMAP事務局 gmap@i-hope.jp までお問合せください。

※eMAPを受講済の方は優待価格（eMAP受講料金分免除）で受講頂けます
※1グループ 3名以上でご応募ください

お申し込み方法

gMAP gMAPsp

■ 募集期間 2025年3月末日 まで

■ 1グループ 3名以上でお申込みください

※個人で受講を希望される方、グループ参加をご希望の方で、メンバーが集まらないなどで受講を迷われている方は、iMAP（p.18）をご検討ください。

お申込フォーム

下記URL、または右のQRコードよりお申込ください

https://goo.gl/Vyzn2C

お問合せ

特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 iHope International

gMAP事務局

e-mail：gmap@i-hope.jp　HP：http://www.i-hope.jp

〒604-8006　京都市中京区河原町通二条下る二丁目下丸屋町403番地

TEL　075-555-3457　　FAX　075-256-8660

修了者の声

gMAP gMAPsp

gMAPは2015年の開講以来、**全国各地の医療関係者 400名以上の方が受講**され、大変好評をいただいております。

非常に系統立ったシステムであり、オンライン講義だけでなく、課題や試験もあり、**メンターの先生もいらっしゃるので、双方の関係が構築できて良かったです。**
今後も若手医師への参加を促したいと思います。そうすることで、**漠然とした臨床・基礎研究の不安が少しでも払拭できるように思います。**

≪医師・SPコース≫

研究を行うためのすべてを学ぶことができた。gMAPに参加するまでは学会や研究など一切を行ったことがなかったが、その後、学会発表を複数行えている。
メンターが丁寧に教えてくれるので、とても助かった。

≪薬剤師・SPコース≫

ライブディスカッションでは、それぞれのチームの考え方や多くの意見が出ることで、**型にはまった講義ではなく、その時の状況に応じた対応で素晴らしい**と思いました。

≪薬剤師≫

様々なバックグラウンドの方々の考え方、**プロジェクトの進捗に触れながら受講できたことが刺激的**でした。

≪薬剤師・SPコース≫

オンライン講義もわかりやすく、何度も見ることができ、とてもよかったです。
また、**課題を自分で解いた後、グループで話し合ってまとめていく過程で理解できていなかった部分を明確にして解決できたり、**さらに**解答・解説も丁寧**にしていただけて、とてもありがたかったです。

≪医師≫

課題ができた時の達成感やグループワークでの意見交換はとても有意義な経験でした。
学習したことを振り返りながら近いうちに研究計画書を作成したいと考えています。

≪看護師≫

研究のデザインの重要性を学ぶことができました。
また、知っていただけの**研究用語についても理解が深まった**と思います。

≪理学療法士≫

よくあるご質問

gMAP gMAPsp

よくあるご質問を掲載しております。その他ご不明な点は事務局までお問合せ下さい。

質問	回答
グループで申しこまなくてはいけないのでしょうか？	できる限りグループでお申込み下さい。同じご所属先でなくても、グループワークが可能なメンバーでしたらお申込みいただけます。また個人で受講できるiMAPもございます。グループでのお申込みが難しいようでしたら、事務局へご相談ください。
サイトリーダーは、受講者以外でないといけないのでしょうか？	サイトリーダーは主に事務局との連絡や受講者への課題配布、（SPコースのみ）日程調整等を行っていただきます。受講者ご本人でも構いませんが、事務局と受講者間のやり取りをスムーズに行える方にお願いいたします。
gMAPとgMAP-SPコースの違いは何ですか？	gMAPコースは、オンライン講義・グループワーク・ライブディスカッションで構成されています。SPコースはこれに研究計画実習（メンタリング）を加えたコースになります。
受講者数が確定してないのですが、申込は受け付けてもらえますか？	受講者人数が確定前でもお申込いただけますが、4月中旬までには受講者数を確定し、事務局へご登録頂く必要があります。
eMAPを受講していたのですが、gMAPに参加するにはどうすればよいでしょうか？	gMAPはグループ学習プログラムとなりますので、グループメンバーを揃えてお申込下さい。メンバーにeMAPを未受講の方が含まれていても構いません。
所属施設（病院単位）での支払いを希望していますが、請求書は発行してもらえますか？	必要書類を発行いたします。事務局までご連絡下さい。
ライブディスカッションの開催される曜日と時間帯は概ねどのようなものでしょうか？	開催日程に曜日の固定はございません。時間帯については、通常は18:00開始、19:00の終了を予定しております。（時間は前後する場合があります。） また、後日ライブディスカッションを録画したビデオを配信いたしますので、業務のご都合などでご出席いただけなかった場合には、補講や復習としてご活用ください。（欠席者には補講課題をご用意いたします。※補講受講で出席とみなします）
ライブディスカッションはグループで集まらずに各個人が別々の場所で受けることは可能でしょうか？	可能です。インターネット環境があれば、ご自宅や職場などご都合のよい場所からのご参加が可能です。但し、事前学習としてご提出いただいたグループ課題の解答（1グループで1つ解答をご用意いただいています）について、講師より質問をする場合がありますので、複数個所から参加される場合は、どなたが回答や解説を担当されるかなど、おおまかで結構ですので、事前にグループで打ち合わせをお願いいたします。

ひとりでもgMAPのコースワークが受講可能

［アイ・マップ］ ［アイ・マップ］

iMAP／iMAPsp

特徴

- gMAPのインタラクティブな学習をひとりでも受講可能
- gMAP spのメンタリングも個人で受講可能
- 個別のニーズの違いに柔軟に対応したプラン選択が可能

プラン	iMAP Full プラン	iMAP Light プラン	iMAP sp Full プラン	iMAP sp Light プラン	iMAP sp Mentor Only プラン	iMAP sp Mentor Only Half プラン
メンタリング メンター１名／１回 90 分	—	—	8回	8回	8回	4回
オンライン発表会	—	—	2回	1回	—	—
eMAP（オンライン講義）	◎	◎	◎	◎	—	—
ライブ討論	◎	○ 聴講のみ	◎	○ 聴講のみ	—	—
課題添削	◎	—	◎	—	—	—
受講期間	1年間 5月～翌3月	1年間 5月～翌3月	1年間 5月～翌3月	1年間 5月～翌3月	1年間 自由設定	6カ月間 自由設定
募集期間	1～3月	1～3月	1～3月	1～3月	随時	随時
受講料（税込）	15万円*	10万円*	70万円*	55万円*	35万円	20万円

＊iMAP sp Mentor OnlyプランとiMAP sp Mentor Only Halfプランは、eMAPまたはgMAP修了者のみが受講いただけます。

これまでグループでの受講が対象だった
gMAP／gMAP spを個人で受講いただけます！

iMAP／iMAP spは、個別のニーズの違いに柔軟に対応するために、カリキュラムの組み合わせを細かく設定しています。コースワークをフルで受講したい方から、メンタリングのみを受講したい方など、個々のニーズに合わせて適切なコースを選択いただけます。

iMAP／iMAP spの詳細は下記ホームページをご覧ください。
https://www.i-hope.jp/activities/academy/imap.html

お問合せ：gMAP事務局 gmap@i-hope.jp

受講メンバーをお探しの方は次のページをご覧ください

ひとりでもgMAPのコースワークが受講可能

［アイ・マップ］ ［アイ・マップ］

iMAP／iMAPsp

本当はグループで参加したいけど仲間がいない・・・

お一人でもグループ受講の機会があります！

メンバーが集まらないなどのご事情でgMAP受講を迷われている方は、他に個人でお申し込みされた方と一緒にグループを組んでいただくことで、グループ学習型のプログラムgMAP*にご参加いただけます。*iMAP Full プラン 限定

グループ参加申し込み方法

1. お申し込みの際に「待機リスト」にご登録
2. 3名以上の登録があればグループを結成

＊3名以上の待機リスト登録がなかった場合は、お申し込みをキャンセルいただくことも可能です。
＊グループ参加となった場合には、gMAPの受講費（1名につき10万円（税込））で受講いただけます。
＊3名以上のグループ結成の条件が整わない場合は、iMAP Full プランの受講費（1名につき15万円（税込））での受講となります。

iMAP／iMAP spの詳細は下記ホームページをご覧ください。
https://www.i-hope.jp/activities/academy/imap.html

お問合せ：gMAP事務局 gmap@i-hope.jp

メンタリングのみが受講可能

gMAPspメンタリングコース

特徴

- グループのRQを具体的な研究計画に
- 経験豊富なメンターによる直接指導
- 毎回90分の遠隔メンタリングを年8回
- 発表会では京大教員とディスカッション

gMAP修了者の方で次のステップに進みたい方や指導者をお探しの方にお勧めのコースです。

グループ独自のリサーチ・クエスチョン（RQ）を、専属メンターが遠隔から指導し、質の高い研究計画の完成を目指します。研究実績はもちろん、指導実績も豊富なメンターが指導しますので、構想中のRQをブラッシュアップしたいグループや、これからRQを考えてみたいグループでも安心して受講していただけます。

メンタリングの流れ

グループ実習 ＋ メンタリング ＋ オープンアワー ＝ 中間 最終 発表会

全8回繰り返し

お問合せ：gMAP事務局 gmap@i-hope.jp